

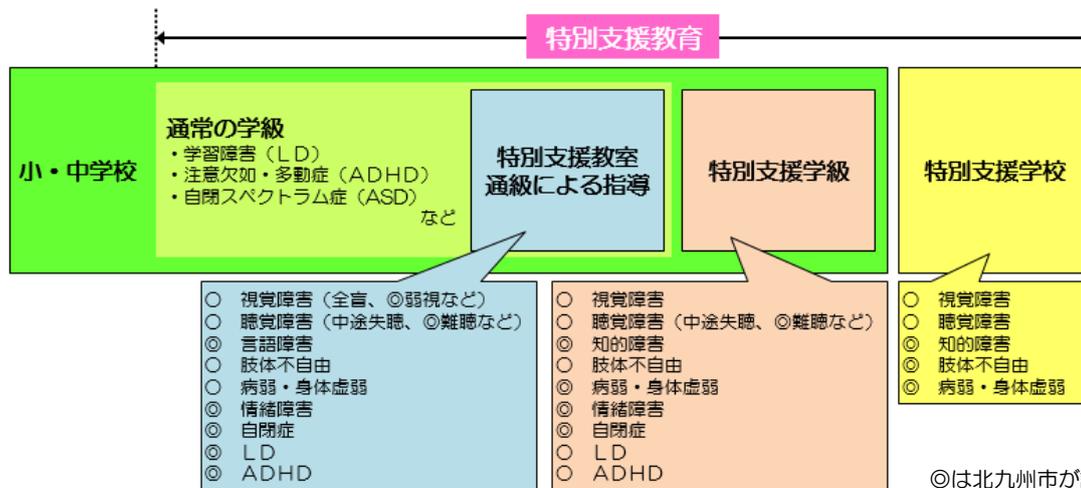
通常の学級における 特別支援教育



北九州市教育委員会



特別支援教育は、通常の学級を含め、 全ての学校で行われています



特別支援教育は、お子さんの生活や学習上のつまずきなどを改善していくため、適切な指導や支援を行うものです。

お子さんのよりよい成長のためには、気がかりなサインに早く気づいて、よさを認めながら、しっかりと支えていくことが大切です。



同じ失敗や同じトラブルを起こしている場合、これが子どもからのサインです。
そのサインに早く気づき、子どもの特性に応じた支援をしていくことが大切です。

学習面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読んで理解することが苦手 ○ 聞いて理解することが苦手 ○ 文字を正しく書くことが苦手 ○ 計算が苦手 <p style="text-align: right;">など</p>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉がはっきりしない ○ 感情の起伏が激しい ○ 忘れ物が多い ○ 整理・整とんが苦手 <p style="text-align: right;">など</p>
行動面	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達とうまく遊べない ○ パターン化した行動やこだわりがある ○ 落ち着きがない ○ 体の動きがぎこちない <p style="text-align: right;">など</p>



学校や家庭の様子で、気がかりなサインがあれば、担任の先生に相談してみましょう



<相談のポイント>

- 気がかりなことを具体的に伝えましょう。
- お子さんの苦手なことだけでなく得意なことも伝えましょう。
- 保護者と担任の先生で共通理解を図りましょう。

各学校では相談や支援の体制を整えています

必要に応じて特別支援教育コーディネーターと呼ばれる先生が、保護者からの相談を受けたり、教育機関や福祉機関等との連絡・調整を行ったりしています。



認めて

子どもは、温かく見守られていることが分ると、のびのびと自分を表現し、個性を発揮することができます。お子さんのよさを認めて、よき理解者になることが大切です。

よさを認めて、ほめて育てましょう

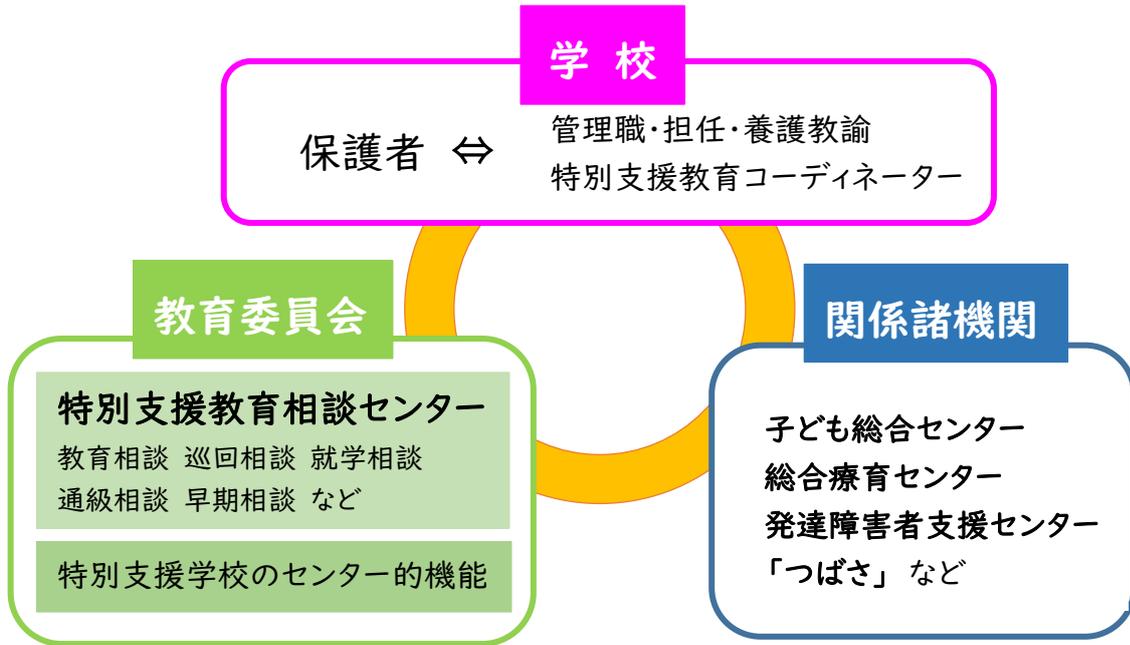
- 得意な面を見つけ、それを生かして、できそうなことから始めましょう。
- 「できた」という経験をたくさん積みませ、自信をもたせましょう。
- 小さなことでも心から喜び、具体的な言葉や動作でほめましょう。





さまざまな関係機関とネットワークを作りながら、子どもの成長に応じて一貫した支援をしています。

子どもを支えるネットワーク



北九州市の主な相談機関



機関名	相談内容	電話
特別支援教育相談センター	子ども・保護者・先生を支援する教育相談 学校を支援する巡回相談 就学前を支援する早期相談 適切な就学を目指す就学相談等	921-2230
子ども総合センター	心身の発達に心配のある子どもについての相談、判定（療育手帳の判定等）や児童福祉施設への措置等	881-4556
総合療育センター	障害のある子どもへの治療、相談やリハビリ等	922-5596
発達障害者支援センター「つばさ」	発達障害のある方、その家庭や所属する学校等を対象とした相談や訪問の実施等	922-5523

※ 特別支援教育についての詳細は、北九州市教育委員会特別支援教育課まで

(TEL 582-3448)